

○三学期が始まりました

新しい年を迎え、三学期が始まりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

お正月から大変なことが起こってしまいましたが皆さんの心は落ち着いているでしょうか。報道を見て「怖い」と思ったら一人で考え込まないで家族と話し合ってくださいね。

三学期は、本年度のまとめをして新しい進路、新しい学年への準備を始める期間です。

みんな一年一年、一步一步、大きくなっていきますね。

○「歩くの歌」(Eテレ0655・2355)より

あ・る・く 歩く あ・る・く 歩く 一生懸命 歩くよ こんな風に歩くよ

自分なりの方法で歩くよ (中略)

ある ある 歩く 歩く 自分の方法で

一歩ずつ前に行けば いつしか どこかに ついている (以下略)

○「自立」とは

歩き方が変わることもある。目的があって険しい道を頑張ることも、目的地は特になくて歩く事そのものを楽しんでいる時もある。ただただ自動的に、流されるように歩いているときもあるでしょう。

大切なのは転ばないことじゃなくて、転んだ時にどうするかではないでしょうか。

自分で起き上がるのなら起き上がればいいし、誰かに手を引いてもらえたらうれしいな。そのあと、傷を洗う水はあるのかな、ばんそうこうは持っている？なかったら誰に助けを求めたらいいかな。「これはお医者に行った方がいいよ」って言ってくれる人がいたら「そうだな」ってお医者に行くかな。こんなにも助けてくれるって温かい気持ちになれるかな。転んで時間をロスしたらどうしよう。「ああ、だめだ」って落ち込むかな。「これは良かった」と傷の治療が終わるまでどちらに向かおうかゆっくり考える時間にするかな。「あっちの道を行った方がいいよ」って言ってくれる人がいたら？他の人にも聞いてみようか。自分はどうしたいかもっとじっくり考えてみることにしようか。

人々は相互に依存しており自立は見せかけ。「自立という虚構」が我々を覆っている。人の本質は依存。キティ(2010)

自立とは自分で何でもできることじゃなくて、誰に助けてもらえばいいか分かること、助けてもらう勇気が出せること、なのでしょう。

新しい世界へ、自分のやり方で歩いていきましょう。

